中期経営計画

「NEXT VISION 2028」

～　Value Up from Creativity　～

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

事業環境認識

事業環境の変化

社会

- 国内少子高齢化と生産年齢人口減少
- 急速なデジタル技術の進展
- 原材料やエネルギー価格の高騰

業界

- 労働力不足の深刻化
- 競合他社との競争激化
- 国内建設市場の緩やかな増加

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

市場環境（1）

小松ウォール

▌非住宅の建設投資はコロナ禍で2020年度は落ち込んだものの、建設補修の増加により、トータルでは増加が続く

*1　「建設投資見通し」国土交通省　2020年度.2021年度は「見込み」、2022年度は「見通し」

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

市場環境（2）

小松ウォール

▌2008年度のリーマンショックによる減少後は着実に回復、コロナ禍での一時的な落ち込みがあったが、2022年度は1,458億円の販売高

▌東京再開発などの案件もあり、当中期経営計画期間中もオフィスビル向けを中心に堅調な増加を予想

*　日本パーティション工業会に属する間仕切メーカー10社の売上高合計

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

当社の強み

オーダーメイド品を短納期で、全国に供給できる体制

営業	設計	製造	施工	サービス
53支店で全国カバー 地域密着の営業体制	オーダーメイド品を 素早く開発する 設計力・製造ノウハウ	小ロット多品種生産を 実現 オーダーメイド品を 短納期で出荷	全国13ヶ所に サービスセンター 自社でも施工を実施	メンテナンス契約により 定期点検・修理 2022年から アフターサービス室設置

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

小松ウォール

事業環境の変化を捉え、

プラスの市場に対して、

当社の強みをより活かしたい

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

基本方針

既存間仕切事業の成長

新規製品の創出

生産・物流オペレーションの高度化

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

NEXT VISION 2028

既存間仕切事業の成長

オフィス市場への更なる進出	市場規模の大きい首都圏を中心に、顧客領域を拡大・深耕
新たな営業拠点の展開	更なる全国展開に向けた空白エリアへの新規営業拠点を増設
製品用途の拡大	当社の主力製品である移動間仕切製品のブラッシュアップ
ブランディングの強化	ショールームの新規オープンや、 HP及びカタログの刷新

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

NEXT VISION 2028

新規製品の創出

製品企画人材の採用・育成	採用促進に向けた人事部門の強化と社内育成環境の整備
製品技術力の向上	製品企画部門における体制強化と業務プロセス改革の推進
デザイン性の向上	共同推進するパートナー企業との更なる連携強化
マーケティングの強化	顧客ニーズや市場調査結果を製品企画に反映する仕組み構築

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

NEXT VISION 2028

生産・物流オペレーションの高度化

製造ラインの生産性改善	更なる自動化に向けた設備導入と工程レイアウトの見直し
協力会社とのリレーション強化	施工人材を確保するための協力会社との連携強化
生産拠点の環境対策	コスト削減を含めたグリーントランスフォーメーション推進
物流網の再構築	2024年問題対策と物量増を見込んだ物流倉庫やルート見直し

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

取組み例　名古屋ショールーム

小松ウォール

- 重点エリアとして名古屋を選定
- ワークショップの意見を反映⇒移動間仕切の用途開発、これまでのショールーム開発経験⇒仕上材を体現

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

サステナビリティ推進

マテリアリティ（重要課題）の特定

	マテリアリティ	テーマ	関連するSDGs
E	持続可能な循環型社会の実現	・カーボンニュートラルに向けた取り組み ・再生可能エネルギーの利用 ・廃棄物削減と資源の有効活用	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう
	製品を通じた気候変動対応への貢献	・サステナビリティ製品対応に向けた製品開発・改良	6 安全な水とトイレを世界中に 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
S	人材の活躍と人権・多様性の尊重	・エンゲージメントの向上 ・人材育成の強化	4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	ダイバーシティ＆インクルージョン	・働きやすさ、働きがいの向上、ワークライフバランスの推進 ・健康経営とダイバシティ＆インクルージョンの推進	3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう
	DX推進と生産性の向上	・デジタルデータの活用と社内業務の協働による ビジネスモデルの構築	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	ステークホルダーエンゲージメント	・様々なイニシアチブへの参画 ・顧客満足の向上 ・公正な取引の遵守	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
G	ガバナンスの更なる改革	・ガバナンスの強化 ・内部統制の強化	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	災害対策、リスク管理体制の強化	・リスクマネジメントのさらなる推進	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 16 平和と公正をすべての人に

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

投資計画

小松ウォール

▌2028年3月期に目指す将来像に向けて、中期経営計画では5年間で累計50億円以上の投資を計画

NEXT VISION 2028

既存間仕切事業の成長

新規製品の創出

生産・物流オペレーションの高度化

サステナビリティの推進

累計

50億円

以上

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

定量目標

	2023年3月期 実績	2028年3月期 目標
成長性 （売上高年平均成長率）	3.6% *1	3～6% *2
収益性 （売上高営業利益率）	6.1%	7～10%
効率性 （ROE）	4.5%	5～8%

*1: 2018年3月期を基準とし、2023年3月期までの年平均成長率
*2: 2023年3月期を基準とし、2028年3月期までの年平均成長率

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

株主還元方針

純資産配当率*（ＤＯＥ）3.0%を下限とする配当を実施し、
持続的な成長の実現等により配当水準の安定的向上を目指す

*純資産配当率（ＤＯＥ）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る１株当たり配当金
／１株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100

１株当たり配当金推移（円）

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

ROE・効率性を意識した経営の実現に向けた対応

小松ウォール

▌中期経営計画達成による当期純利益の拡大と、配当水準の安定的向上による純資産の増加抑制により、
ROE（当期純利益/純資産）の向上を目指す

中期経営計画
NEXT VISION 2028
（2024年3月期～2028年3月期）

売上高年平均成長率
3～6%

売上高営業益率
7～10%

ROE
5～8%
（2023年3月期4.5%）

ROE
（株主資本当期純利益率）

当期純利益 ÷ 純資産

中期経営計画達成による
当期純利益の拡大

株主還元方針の変更による
純資産の増加抑制

1. DOE（株主資本配当率）3%以上の配当を実施
2. 配当水準の安定的向上を目指す

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

小松ウォール

小松ウオール工業株式会社　|　東証プライム　7949

お問合せ先

小松ウオール工業株式会社
総務部
TEL 0761-21-3131(代表)
https://komatsuwall.co.jp/form/form.php?form_id=201

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。